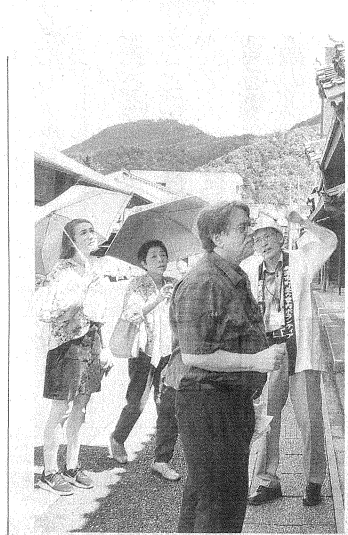


ボストンから2人 美濃で英語教える

小中学校など回る

昭和女子大(東京)が米
国・ボストンに設けている
語学教育施設「昭和ボスト
ン」講師のミルトン・コイ
ケンドールさん(左)と、同
施設で日本語を学ぶマサチ
ューセツツ大三年のグレイ



コイ(手前)とヒラカーさん(右)を見学する町並みとケンドールさん(前)とヒラカーさん(前)＝美濃市常盤町で

ス・ヒラカーさん(右)の二人が美濃市を訪れ、地元の子どもたちに英会話を教える。

市教育委員の中島正憲さん(左)＝同市もみじが丘が、若者が英語を母語とする外国人と交流できる場を作ろうと、武義高校(美濃市)の同級生で昭和ボストンの日本語講師を務める服

部美喜代さんに協力を依頼して実現した。コイケンドールさんは今月十九日、ヒラカーさんが二十日に到着。市中心部のうだつの上がる町並みなどを見学した。コイケンドールさんは「自然と歴史を感じられて楽しい街歩きだった。これからの滞在と交流を楽しみたい」と話していた。

二人は来月初旬まで市内にホームステイする予定で、市内の保育園、小学校、中学校、高校などを回って英会話の授業を行う。また、二十二日から九月三日までの毎週水曜と金曜の午後七時から、同市泉町の吉田工房で無料の教室を開くことにしており、一般を含めて参加を呼び掛けている。●市文化会館＝0575(35)0522(鈴木太郎)